



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル

コード番号 7864 URL <https://www.fujiseal.com>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 C00

(氏名) 城川 雅行

問合せ先責任者 (役職名) IR担当マネージャー

(氏名) 植田 将二郎

TEL 06-6350-1080

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日 2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	90,909	2.9	4,729	△40.9	5,106	△37.9	3,486	△37.6
2022年3月期第2四半期	88,339	7.6	7,996	18.3	8,223	33.4	5,587	62.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 11,970百万円 (45.6%) 2022年3月期第2四半期 8,221百万円 (197.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	63.68	—
2022年3月期第2四半期	102.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	182,031	120,506	66.2	2,200.19
2022年3月期	164,646	109,492	66.5	1,999.85

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 120,506百万円 2022年3月期 109,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	179,000	5.1	11,100	5.0	11,000	3.8	6,300	3.0	115.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	60,161,956株	2022年3月期	60,161,956株
2023年3月期2Q	5,390,891株	2022年3月期	5,411,891株
2023年3月期2Q	54,758,511株	2022年3月期2Q	54,777,557株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2022年11月11日に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。
当日使用する決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高909億9百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益47億29百万円（前年同期比40.9%減）、経常利益51億6百万円（前年同期比37.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億86百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

（単位：百万円）

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率
売上高	88,339	90,909	2.9%
営業利益	7,996	4,729	△40.9%
経常利益	8,223	5,106	△37.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,587	3,486	△37.6%
米ドル平均為替レート（円）	107.82	123.14	14.2%
ユーロ平均為替レート（円）	129.89	134.39	3.5%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	24,831	25,387	2.2%	—
タックラベル	5,177	4,998	△3.5%	—
ソフトパウチ	8,791	10,348	17.7%	—
機械	2,759	2,343	△15.1%	—
その他	6,893	6,094	△11.6%	—
売上高合計	48,453	49,172	1.5%	—
営業利益	5,351	4,398	△17.8%	—
米州				
シュリンクラベル	16,538	19,733	19.3%	4.5%
タックラベル	570	943	65.5%	44.9%
ソフトパウチ	252	142	△43.7%	△50.7%
機械	2,743	2,265	△17.4%	△27.7%
その他	660	829	25.6%	10.0%
売上高合計	20,765	23,914	15.2%	0.8%
営業利益	2,113	1,414	△33.1%	△41.4%
欧州				
シュリンクラベル	6,958	7,544	8.4%	4.8%
タックラベル	3,893	2,672	△31.4%	△33.7%
ソフトパウチ	88	66	△24.7%	△27.2%
機械	3,856	3,575	△7.3%	△10.4%
売上高合計	14,797	13,858	△6.3%	△9.5%
営業利益	296	△749	—	—

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
アセアン				
シュリンクラベル	3,669	4,001	9.0%	△4.5%
タックラベル	98	67	△31.6%	△40.1%
ソフトパウチ	4,033	4,036	0.1%	△12.4%
機械	189	96	△48.8%	△55.2%
その他	115	115	0.6%	△12.0%
売上高合計	8,105	8,317	2.6%	△10.2%
営業利益	291	△137	—	—

（日本）

シュリンクラベルは売上高253億87百万円（前年同期比2.2%増）、タックラベルは売上高49億98百万円（前年同期比3.5%減）、ソフトパウチは売上高103億48百万円（前年同期比17.7%増）、機械は売上高23億43百万円（前年同期比15.1%減）、その他は売上高60億94百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

その結果、日本全体の売上高は491億72百万円（前年同期比1.5%増）、損益面は営業利益43億98百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

（米州）

シュリンクラベルは売上高197億33百万円（前年同期比19.3%増、現地通貨ベース4.5%増）、タックラベルは売上高9億43百万円（前年同期比65.5%増、現地通貨ベース44.9%増）、ソフトパウチは売上高1億42百万円（前年同期比43.7%減、現地通貨ベース50.7%減）、機械は売上高22億65百万円（前年同期比17.4%減、現地通貨ベース27.7%減）、その他は売上高8億29百万円（前年同期比25.6%増、現地通貨ベース10.0%増）となりました。

その結果、米州全体の売上高は239億14百万円（前年同期比15.2%増、現地通貨ベース0.8%増）、損益面は営業利益14億14百万円（前年同期比33.1%減、現地通貨ベース41.4%減）となりました。

（欧州）

シュリンクラベルは売上高75億44百万円（前年同期比8.4%増、現地通貨ベース4.8%増）、タックラベルは売上高26億72百万円（前年同期比31.4%減、現地通貨ベース33.7%減）、ソフトパウチは売上高66百万円（前年同期比24.7%減、現地通貨ベース27.2%減）、機械は売上高35億75百万円（前年同期比7.3%減、現地通貨ベース10.4%減）となりました。

その結果、欧州全体の売上高は138億58百万円（前年同期比6.3%減、現地通貨ベース9.5%減）、損益面は営業損失7億49百万円（前年同期は営業利益2億96百万円）となりました。

（アセアン）

シュリンクラベルは売上高40億1百万円（前年同期比9.0%増、現地通貨ベース4.5%減）、タックラベルは売上高67百万円（前年同期比31.6%減、現地通貨ベース40.1%減）、ソフトパウチは売上高40億36百万円（前年同期比0.1%増、現地通貨ベース12.4%減）、機械は売上高96百万円（前年同期比48.8%減、現地通貨ベース55.2%減）、その他は売上高1億15百万円（前年同期比0.6%増、現地通貨ベース12.0%減）となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は83億17百万円（前年同期比2.6%増、現地通貨ベース10.2%減）、損益面は営業損失1億37百万円（前年同期は営業利益2億91百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,820億31百万円となり、前連結会計年度末と比べ173億85百万円の増加となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が93億11百万円増加したこと、棚卸資産が46億19百万円増加したこと、有形固定資産が58億92百万円増加したこと、現金及び預金が45億47百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は615億24百万円で、前連結会計年度末と比べ63億70百万円の増加となりました。これは支払手形及び買掛金（電子記録債務を含む）が49億28百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は1,205億6百万円で、前連結会計年度末と比べ110億14百万円の増加となりました。これは利益剰余金が25億1百万円増加したこと、為替換算調整勘定が81億36百万円増加したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、29億66百万円の収入（前年同期は75億48百万円の収入）となりました。これは税金等調整前四半期純利益50億51百万円、減価償却費37億45百万円などの計上、仕入債務の増加額40億87百万円などによる収入、売上債権の増加額64億23百万円、棚卸資産の増加額27億56百万円、法人税等の支払額17億59百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、62億47百万円の支出（前年同期は57億96百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出60億82百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、61億54百万円の支出（前年同期は56億87百万円の支出）となりました。これは、借入金の減少50億21百万円、配当金の支払額9億85百万円などによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ78億51百万円減少の162億53百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,860	21,312
受取手形及び売掛金	40,854	48,484
電子記録債権	10,206	11,888
商品及び製品	7,772	9,183
仕掛品	4,127	6,010
原材料及び貯蔵品	7,956	9,280
その他	4,533	6,105
貸倒引当金	△183	△244
流動資産合計	101,126	112,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,131	21,992
機械装置及び運搬具（純額）	18,976	20,775
工具器具備品（純額）	2,013	1,995
土地	6,989	8,369
リース資産（純額）	292	278
建設仮勘定	5,647	7,567
その他（純額）	908	873
有形固定資産合計	55,958	61,851
無形固定資産		
のれん	107	79
その他	1,402	1,534
無形固定資産合計	1,510	1,614
投資その他の資産		
投資有価証券	3,776	4,284
繰延税金資産	1,584	1,712
その他	732	592
貸倒引当金	△43	△46
投資その他の資産合計	6,050	6,543
固定資産合計	63,519	70,009
資産合計	164,646	182,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,758	15,996
電子記録債務	11,179	13,870
短期借入金	4,382	7,932
1年内返済予定の長期借入金	5,038	22
リース債務	91	84
未払金	3,887	3,746
未払法人税等	817	1,325
賞与引当金	1,630	1,594
その他	7,811	9,712
流動負債合計	48,596	54,284
固定負債		
長期借入金	2,387	2,835
リース債務	133	116
繰延税金負債	570	726
退職給付に係る負債	2,630	2,727
その他	834	834
固定負債合計	6,557	7,239
負債合計	55,153	61,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,603	6,600
利益剰余金	97,677	100,178
自己株式	△8,512	△8,479
株主資本合計	101,758	104,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,297	1,610
為替換算調整勘定	6,259	14,395
退職給付に係る調整累計額	176	210
その他の包括利益累計額合計	7,733	16,217
純資産合計	109,492	120,506
負債純資産合計	164,646	182,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	88,339	90,909
売上原価	70,365	75,531
売上総利益	17,973	15,377
販売費及び一般管理費	9,977	10,648
営業利益	7,996	4,729
営業外収益		
受取利息	14	30
受取配当金	50	58
還付加算金	28	63
為替差益	162	276
廃棄物リサイクル収入	13	14
その他	31	24
営業外収益合計	301	469
営業外費用		
支払利息	31	45
休止固定資産減価償却費	37	44
その他	4	1
営業外費用合計	74	92
経常利益	8,223	5,106
特別利益		
固定資産売却益	12	16
投資有価証券売却益	—	0
受取保険金	※1 242	—
ゴルフ会員権売却益	—	2
特別利益合計	254	19
特別損失		
固定資産除売却損	89	74
投資有価証券売却損	0	—
組織再編費用	※2 312	—
特別損失合計	402	74
税金等調整前四半期純利益	8,075	5,051
法人税、住民税及び事業税	2,322	1,733
法人税等調整額	165	△168
法人税等合計	2,487	1,564
四半期純利益	5,587	3,486
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,587	3,486

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	5,587	3,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	313
為替換算調整勘定	1,999	8,136
退職給付に係る調整額	615	33
その他の包括利益合計	2,633	8,483
四半期包括利益	8,221	11,970
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,221	11,970
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,075	5,051
減価償却費	4,010	3,745
のれん償却額	22	24
組織再編費用	312	—
受取保険金	△242	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	48	30
賞与引当金の増減額（△は減少）	△207	△80
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△160	65
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	—	△2
固定資産除売却損益（△は益）	77	57
投資有価証券売却損益（△は益）	0	△0
受取利息及び受取配当金	△65	△89
支払利息	31	45
為替差損益（△は益）	64	△163
売上債権の増減額（△は増加）	△3,759	△6,423
棚卸資産の増減額（△は増加）	△290	△2,756
仕入債務の増減額（△は減少）	2,120	4,087
未払金の増減額（△は減少）	△547	17
その他	176	1,082
小計	9,668	4,691
利息及び配当金の受取額	65	87
利息の支払額	△29	△51
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,397	△1,759
保険金の受取額	242	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,548	2,966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,295	△6,082
有形固定資産の売却による収入	16	15
無形固定資産の取得による支出	△438	△310
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
投資有価証券の売却による収入	22	0
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	3	4
補助金の受取額	42	—
その他	△129	142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,796	△6,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,558	—
長期借入金の返済による支出	△1,068	△5,021
自己株式の取得による支出	△1,020	—
配当金の支払額	△882	△985
その他	△157	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,687	△6,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	364	1,583
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,570	△7,851
現金及び現金同等物の期首残高	21,549	24,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,979	16,253

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は主に定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法）を採用する一方、在外連結子会社は主に定額法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社においても定額法に変更しております。

当社グループは、環境課題の対応ニーズの加速や消費者ライフスタイル多様性の加速、消費地の拡大等の社会や市場の変化に対応すべく、中期経営計画において戦略・成長投資を計画し、当連結会計年度より一部の設備の稼働を開始いたしました。これを契機として、減価償却方法の再検討を実施いたしました。その結果、これまでの有形固定資産の使用状況及び将来の使用計画等から、当社グループの生産設備等は耐用年数にわたって長期安定的に稼働することが見込まれるため、耐用年数にわたり費用を均等に配分する定額法が固定資産の使用実態をより適切に表すと判断いたしました。

また、中期経営計画では、海外売上比率の増加を目指しております。その一環として、グループ全体で有形固定資産の減価償却方法を統一することで、当社グループにおける投資判断や業績管理により有用な情報を提供できると判断いたしました。

これにより、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は275百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ292百万円増加しております。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項（1）に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

（四半期連結損益計算書関係）

※1 受取保険金

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

2019年11月に発生した当社の連結子会社 株式会社フジシール（筑波工場）の火災事故に伴う利益補填に係る保険金であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

※2 組織再編費用

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

Fuji Seal Switzerland AG（旧：Pago AG）のタックラベル事業の譲渡契約締結に伴い発生が見込まれる損失を計上しております。

その内訳は、棚卸資産評価損187百万円、減損損失125百万円（機械装置他）であります。

なお、組織再編費用のうち、減損損失に係るものは、以下のとおりであります。

用途	場所	種類	金額（百万円）
処分予定資産	Fuji Seal Switzerland AG （スイス/グラス）	機械装置他	125

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産及び処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当第2四半期連結累計期間において、Fuji Seal Switzerland AGのタックラベル事業の機械装置他が、事業譲渡の契約締結に伴い売却予定となったため、その帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当事業用資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却予定価額により評価しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方と比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で275百万円増加しております。

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結財務諸表計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,659	20,763	12,869	7,046	88,339	—	88,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	793	1	1,927	1,058	3,782	△3,782	—
計	48,453	20,765	14,797	8,105	92,121	△3,782	88,339
セグメント利益	5,351	2,113	296	291	8,052	△56	7,996

(注) 1. セグメント利益の調整額△56百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州: アメリカ、メキシコ

欧州: イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン: インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧州」セグメントにおいて、組織再編に伴う売却予定の資産に対する減損損失125百万円(機械装置他)を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結財務諸表計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,088	23,883	12,080	6,856	90,909	—	90,909
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,084	31	1,778	1,460	4,355	△4,355	—
計	49,172	23,914	13,858	8,317	95,264	△4,355	90,909
セグメント利益又は 損失(△)	4,398	1,414	△749	△137	4,926	△196	4,729

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△196百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以 上